

事務事業名	掛合総合センター庁舎管理事業		所属部	掛合総合センター	所属課	市民サポート課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	市民サポートG	課長名 永瀬 浩二
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	茂富 加奈子	電話番号 0854-62-0300 (内線) 4502
	目的・対象	A)市民 B)行政機能	意図	公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。		
	基本事業	〈012〉業務と組織機構の効率化		予 算 科 目	0:1:1:0:0:3 0:5:3:0:0:2	大事業名 市有施設等管理事業 中事業名 庁舎管理事業
目的・対象	行政機能	意図	効率的な組織機構で効果的な行政サービスを提供する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
<ul style="list-style-type: none"> 旧センター施設(本館、別館、書庫、車庫) 現センター施設(庁舎、車庫) 雲南市民 	<ul style="list-style-type: none"> 事務に支障が生じないために維持する 各種施設設備の維持及びメンテナンスをする 維持管理経費の節減を図る
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	旧掛合総合センター施設(本館、別館、車庫等)、現掛合総合センター(庁舎、車庫、書庫)および敷地の維持、修繕及び管理、防犯灯管理業務 ※令和4年度に旧総合センター本館・別館・車庫が解体撤去となった。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) <ul style="list-style-type: none"> 旧掛合総合センター庁舎解体撤去工事(所管:管財課) 跡地は駐車場利用として事務組合、診療所、社協へ貸付を行う 現庁舎の維持管理 	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) <ul style="list-style-type: none"> 執務室、トイレ等の日常的な清掃は職員で対応。 令和2年度からは電気料金については、交流センター分も市が全額支払う。(ガス・水道は別) 周辺草刈作業は、事務組合等と協力して年に数回実施している。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 維持管理経費	千円	9,758	9,880	10,263	11,135
イ 要修繕箇所	件	0	3	1	3
ウ 修繕済箇所	件	0	3	1	3
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	財源内訳	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
			千円				
報酬1,866千円、費用弁償30千円、消耗品費等159千円、光熱水費2,080千円、修繕費51千円、手数料5千円、委託料(施設・設備管理)5,958千円、使用料賃借料114千円	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	9,758	9,880	10,263	11,135	
事業費計		千円	9,758	9,880	10,263	11,135	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	掛合総合センターは雲南市の南部の行政窓口拠点であり、周辺地域での行政サービスの公平性を保持するためにも庁舎維持は不可欠である。併設の交流センターと調整しながら、経費削減につとめている。
② 事業実施するうえでの課題	庁舎としては新しいので見直しの予定は当面ない。令和4年度は燃料費高騰等の影響が大きかった。旧庁舎の解体撤去工事が行われ、跡地周辺の活用について検討の必要あり。
③ 課題解決に向けた改革改善等	平成29年度に新たな総合センターが掛合交流センターとの合築で建設され、平成30年度から供用開始となった。執務環境の改善が図られ、来庁者への利便性や行政サービスの向上が図られるよう、地域の行政拠点施設として維持・管理を図る。 また、令和4年度に旧庁舎の解体撤去工事が完了。維持管理のための経費はなくなったが、周辺外灯の整備を行い街灯電気料金の負担をしている。跡地は主に駐車場として管理を行う。